

消防ポンプ操法大会

名和分団優勝!

6月16日(日)に「第55回鳥取県西部消防ポンプ操法大会」があり、日頃の訓練の成果を競い合いました。

競技は、ポンプ車操法の部(参加10チーム)と小型ポンプ操法の部(参加2チーム)で行われました。大会では、規律、節度、敏しよ性、士気、安全性、操法要領遵守度タイムで審査します。大山町からは、ポンプ車操法の部に中山・名和・大山の旧町村ごとに各1チームが出場。その中で、名和分団が見事優勝を果たしました。大山第1分団、中山第1分団は惜しくも上位入賞を逃しました。

また、個人では、優秀番員として名和分団から(指揮者)橋本晃さん、(1番員)加納剛史さんが表彰されました。優勝した名和分団は、7月7日の県大会に出場しました。健闘しましたが、接戦の末、5位という結果になりました。



▶名和分団の皆さん

世界とつながる! 国際交流事業

姉妹都市の韓国・襄陽(ヤンヤン)郡からの訪問団が、大山夏山開き祭にあわせて、5月31日から6月2日の3日間、大山町を訪れました。

大山きやらぼく保育園では、園児が元気良く韓国語で「アンニョンハセヨ!」とあいさつをすると、とても喜んでおられました。

また、6月15日(土)には、もうひとつの姉妹都市、米国・テメキュラ市に昨年派遣された訪問団員が報告会を行いました。

「英語が上手に話せなくても、交流をしようとする気持ちがあれば大丈夫」「学校や子育ての違いを知って、自分は何ができるかを考えるようになった」など、テメキュラで経験してきた交流の成果を伝えることができました。



▲報告会の様子(名和公民館)

香取で映画撮影くさぬき映画祭で上映

来年2月に香川県のさぬき映画祭で上映される『夏を越える少年たち』の撮影が、6月15日に大山ものづくりり学校と川床で行われました。

この映画は、米子市のシナリオライター添谷泰一さんが脚本・監督を担当しています。香取を開拓した三好武男団長の自伝『開拓人生』を参考にして脚本が作られました。香取開拓の歴史的背景を絡めながら、少年たちが大山町香

取から香川県までの旅を通して成長していく青春ロードムービーです。

この日は、香川県栗熊村の小学生と大山町香取分校の小学生が交流学習をするシーンで、主人公の兄(岸田純希さん演じる)がビデオカメラでその様子を記録しているという場面が収録されました。

監督の添谷さんは「少年たちが自らのルーツをたどる旅を通して、生と死を学び成長していく姿を描いていきたい」と話されました。

8月には、香川県での撮影が行われる予定です。



▲大山ものづくり学校前で